

## (2) 体力・運動能力の年次推移の傾向

### ① 青少年（6歳から19歳）（図2-1～20）

長期にわたる年次推移の観察が可能な握力、50m走、持久走、立ち幅とび、ボール投げについて図2-1から図2-10に示した。また、新体力テスト施行以後20年間の年次推移の観察が可能である、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン及び新体力テスト合計点について図2-11から図2-20に示した。

- 平成29年度の握力、50m走、持久走、立ち幅とび、ボール投げを、水準の高かった昭和60年頃と比較すると、中学生男子及び高校生男子の50m走を除き、依然低い水準になっている。
- 最近10年では、男女のボール投げ及び高校生男子の握力において低下傾向にあるが、その他の項目では、男女及び年代によってやや違いが見られるものの、合計点を含みほとんどの項目では、横ばいまたは向上傾向を示している。

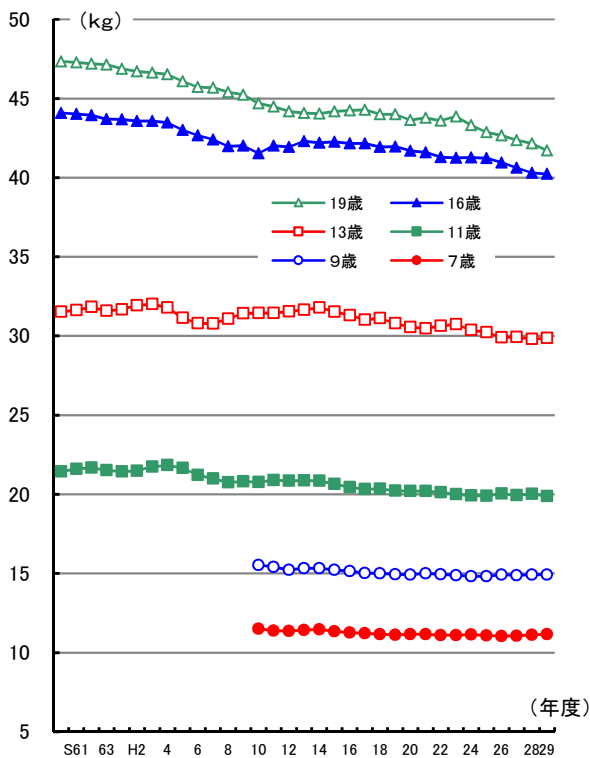


図2-1 握力の年次推移(男子)

(注) 図は、3点移動平均法を用いて平滑化してある。

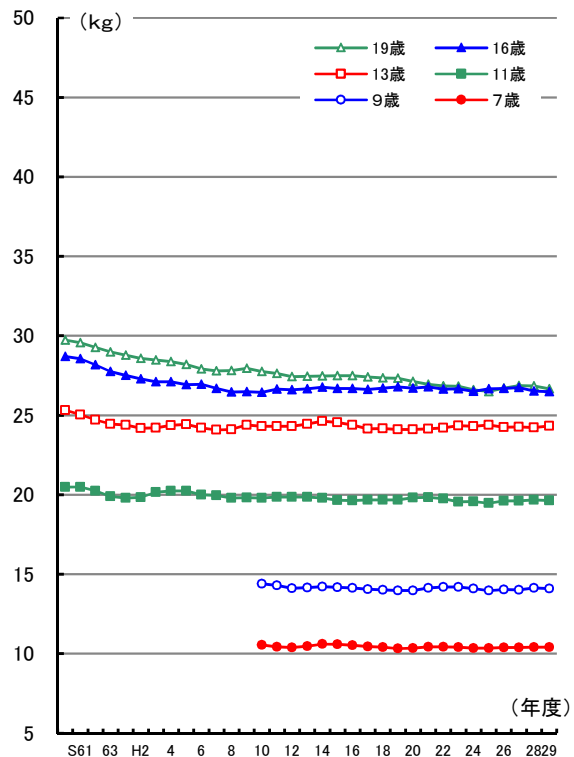


図2-2 握力の年次推移(女子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

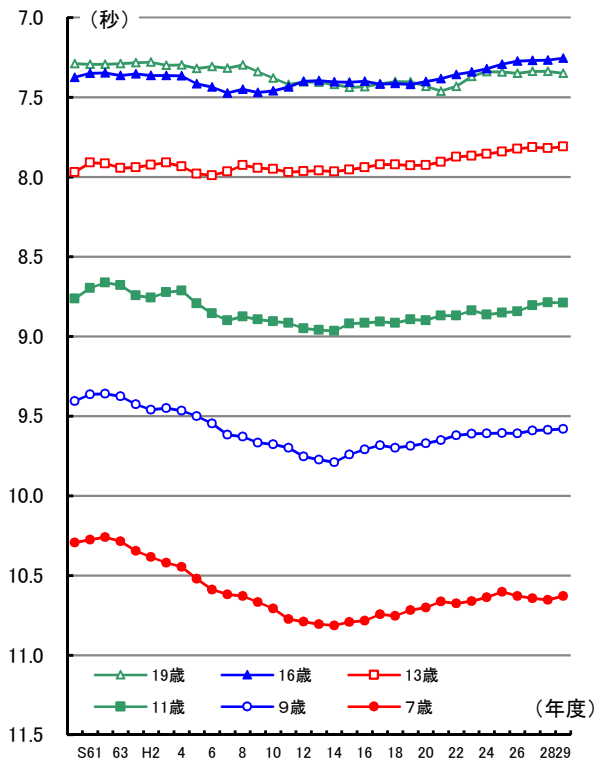


図2-3 50m走の年次推移(男子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

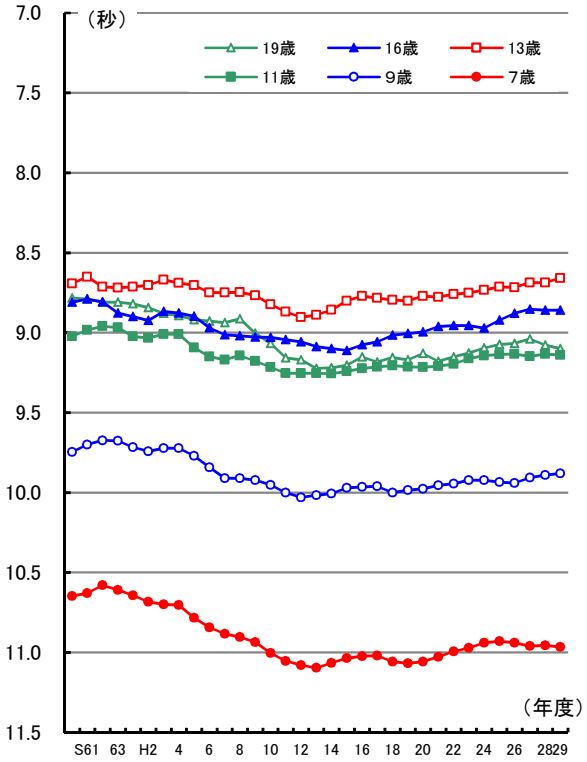


図2-4 50m走の年次推移(女子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

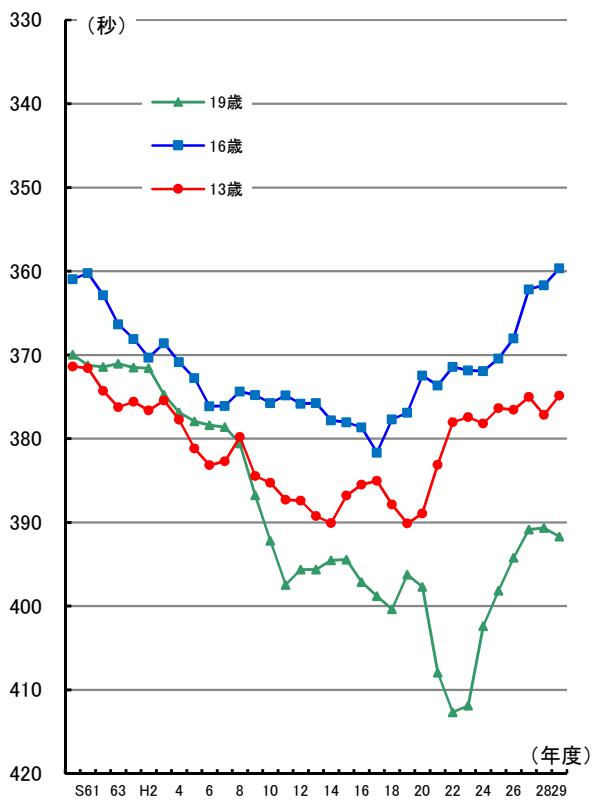


図2-5 持久走(1500m)の年次推移(男子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

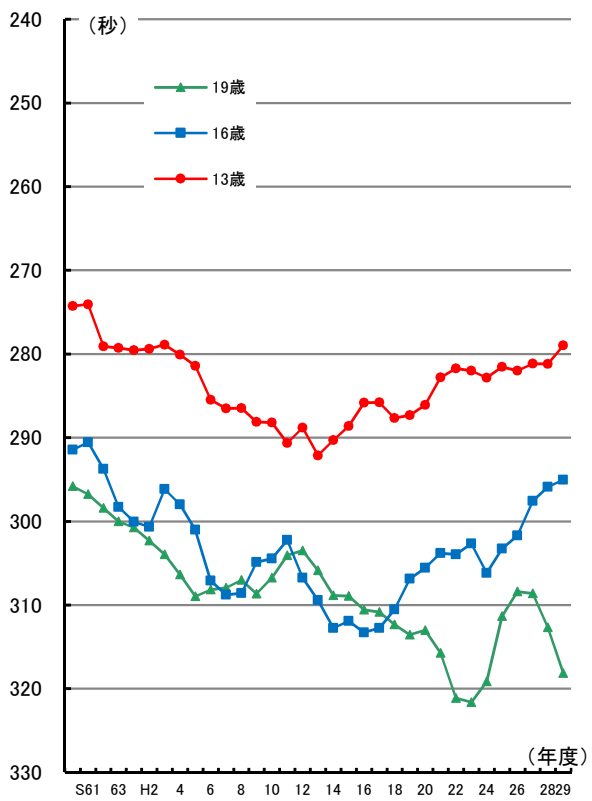


図2-6 持久走(1000m)の年次推移(女子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

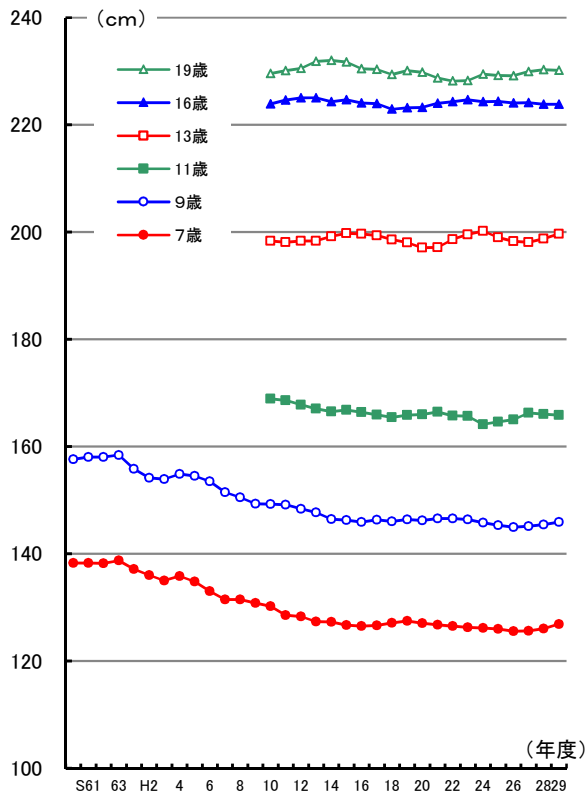


図2-7 立ち幅とびの年次推移(男子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

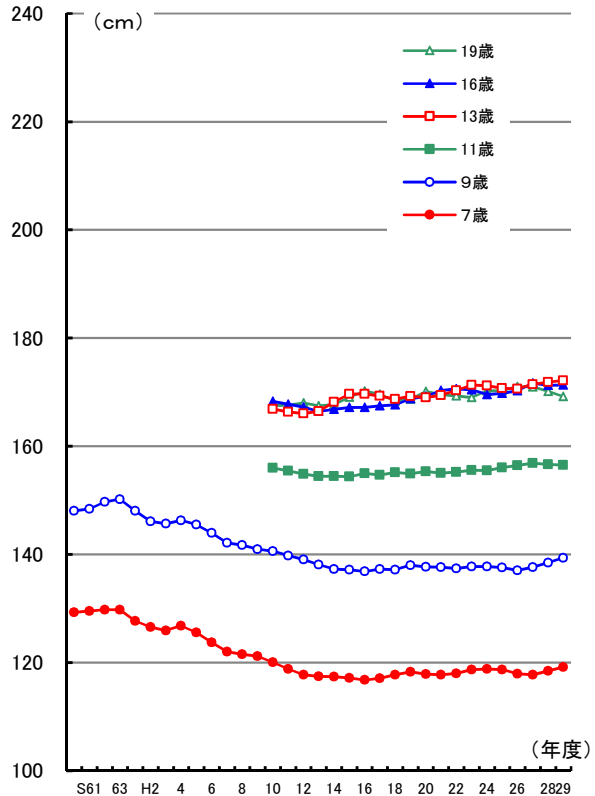


図2-8 立ち幅とびの年次推移(女子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

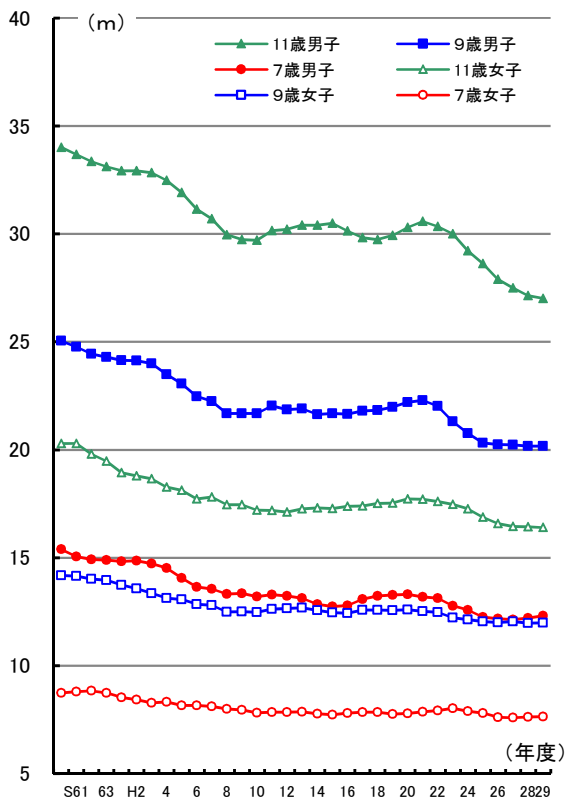


図2-9 ソフトボール投げの年次推移

(注) 図2-1の(注)に同じ。

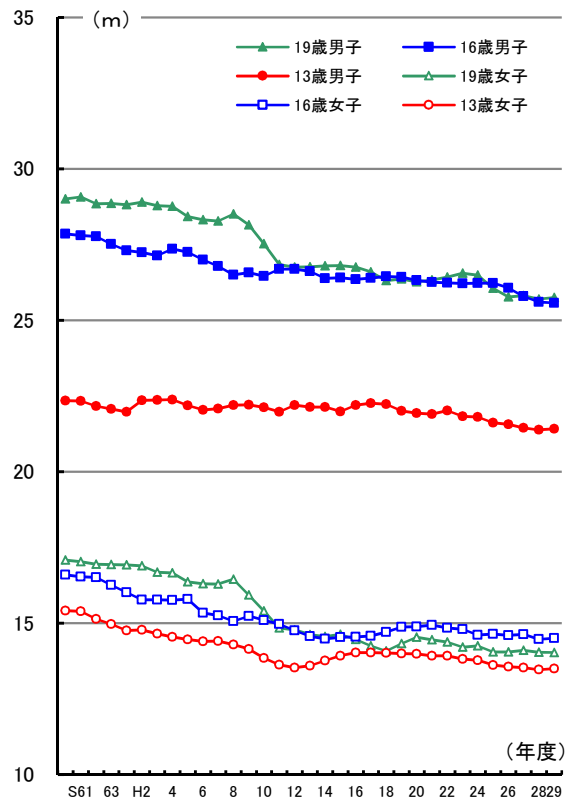


図2-10 ハンドボール投げの年次推移

(注) 図2-1の(注)に同じ。

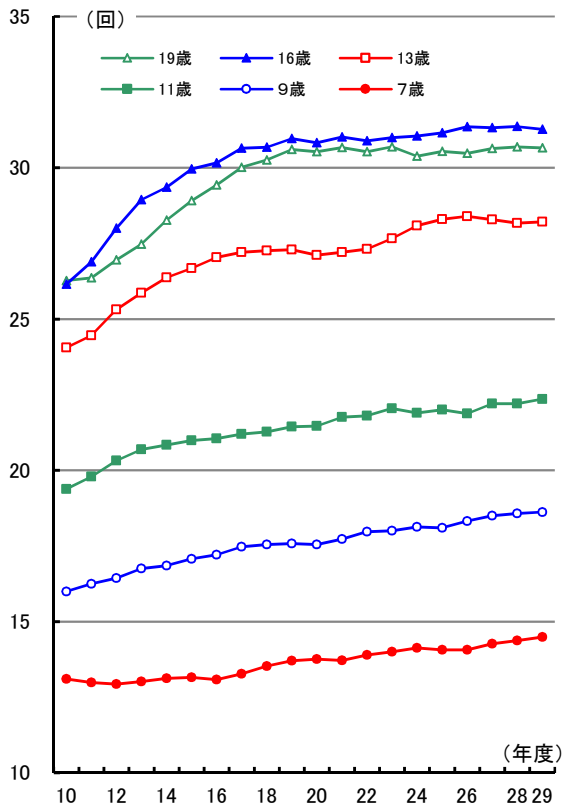


図2-11 上体起こしの年次推移(男子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

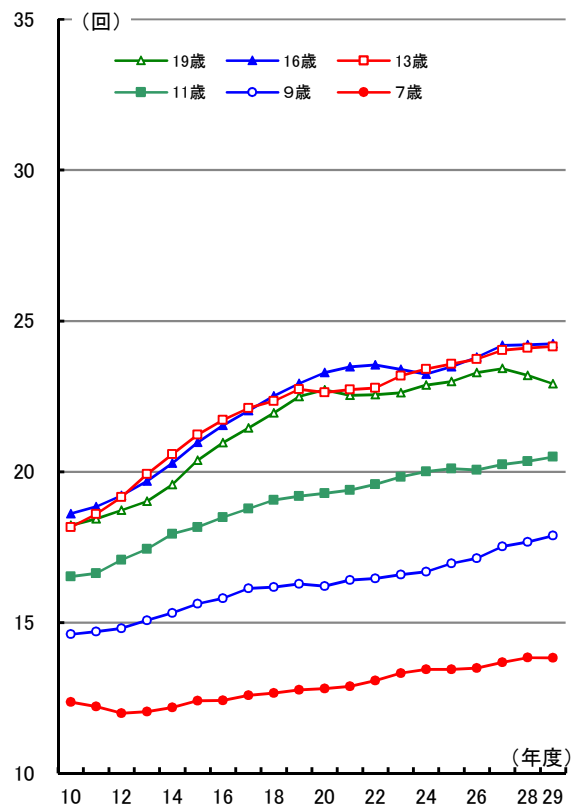


図2-12 上体起こしの年次推移(女子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

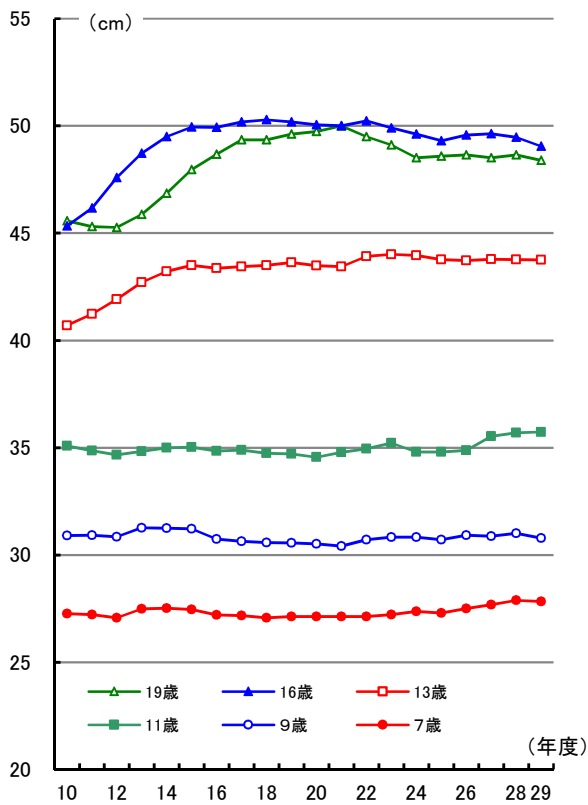


図2-13 長座体前屈の年次推移(男子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

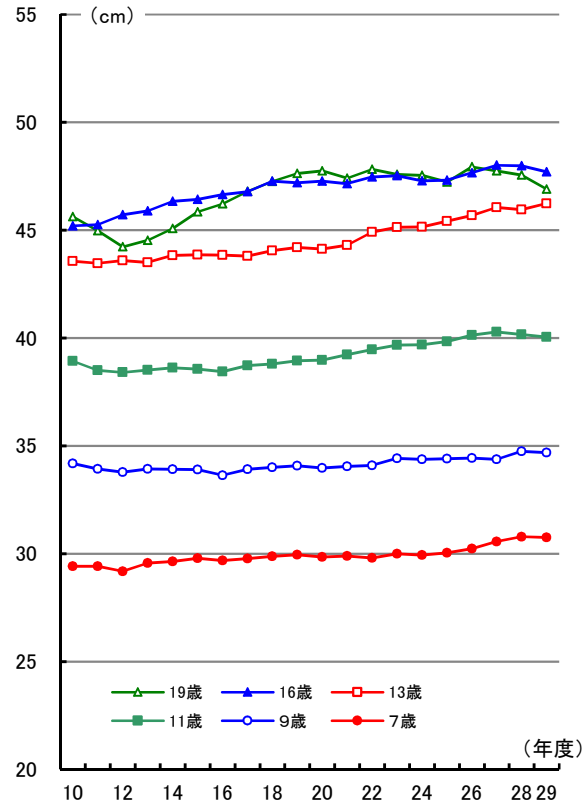


図2-14 長座体前屈の年次推移(女子)

(注) 図2-1の(注)に同じ。

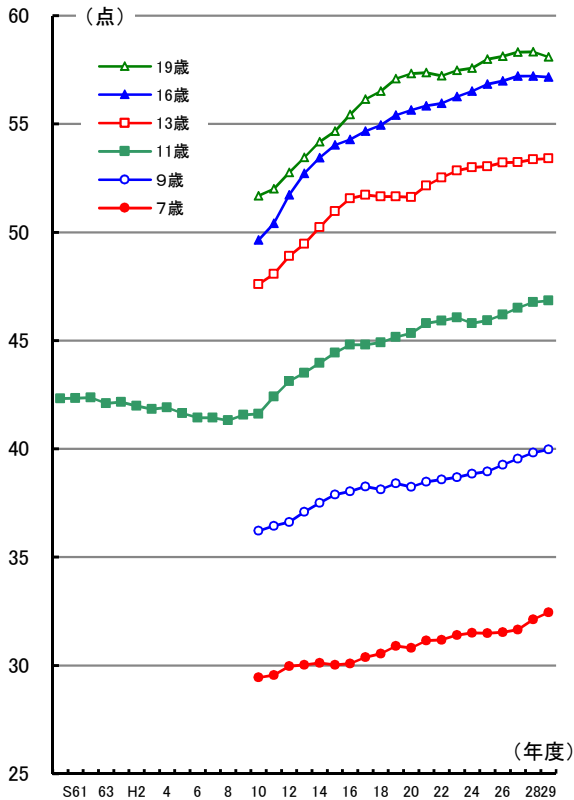


図2-15 反復横とびの年次推移(男子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

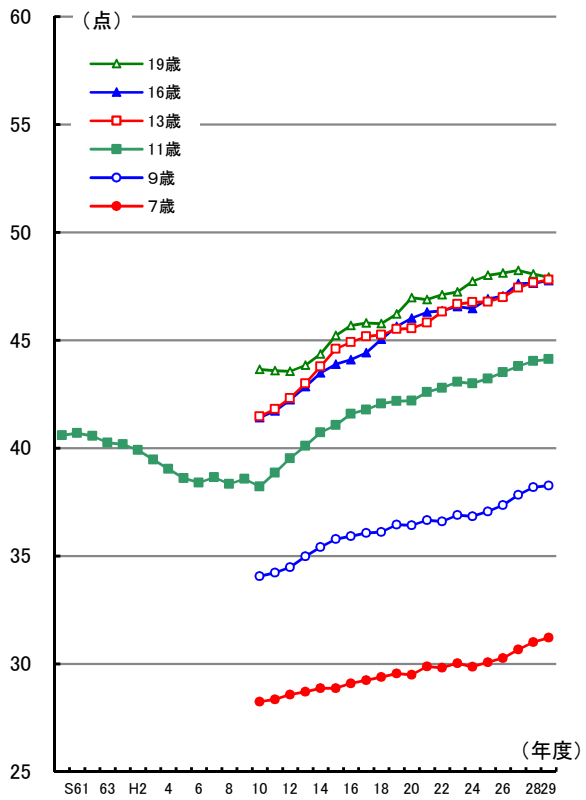


図2-16 反復横とびの年次推移(女子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

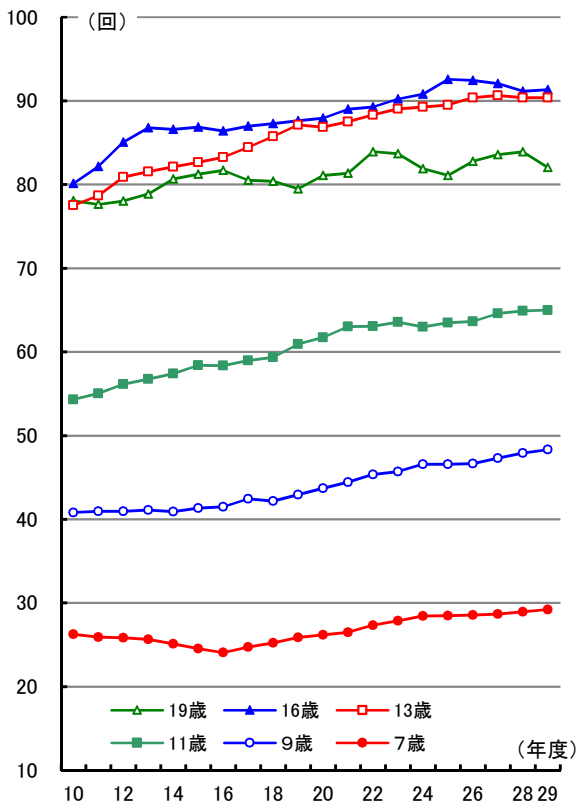


図2-17 20mシャトルランの年次推移(男子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

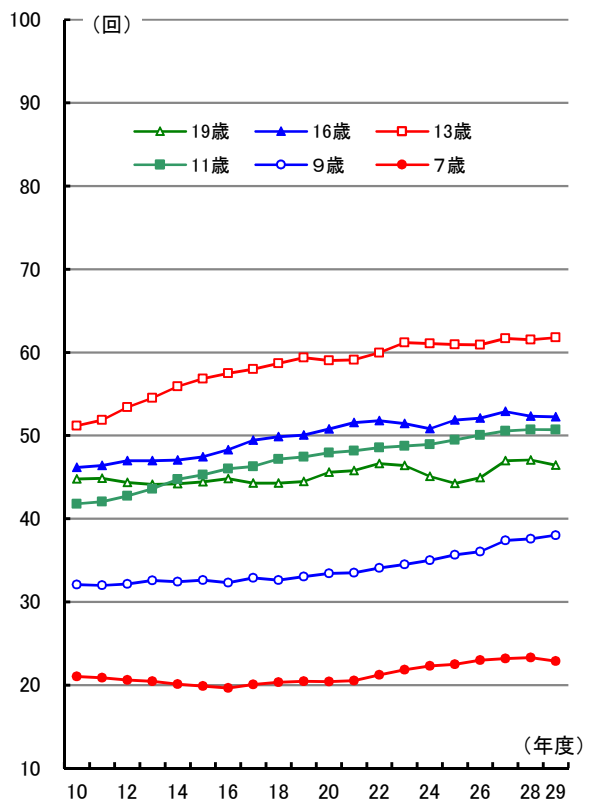


図2-18 20mシャトルランの年次推移(女子)

(注)図2-1の(注)に同じ。

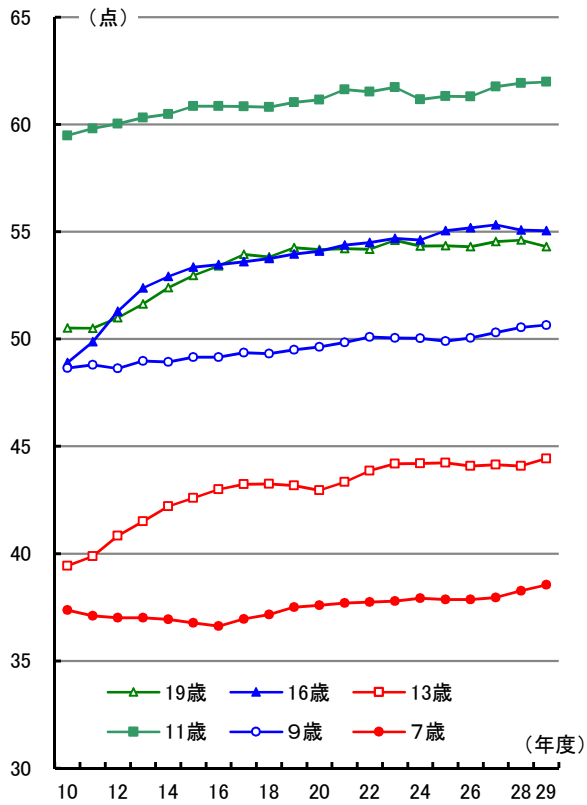


図2-19 新体カテストの合計点の年次推移(男子)

(注)1. 図は、3点移動平均法を用いて平滑化してある。

2. 合計点は、新体カテスト実施要項の「項目別得点表」による。

3. 得点基準は、6～11歳、12歳～19歳で異なる。

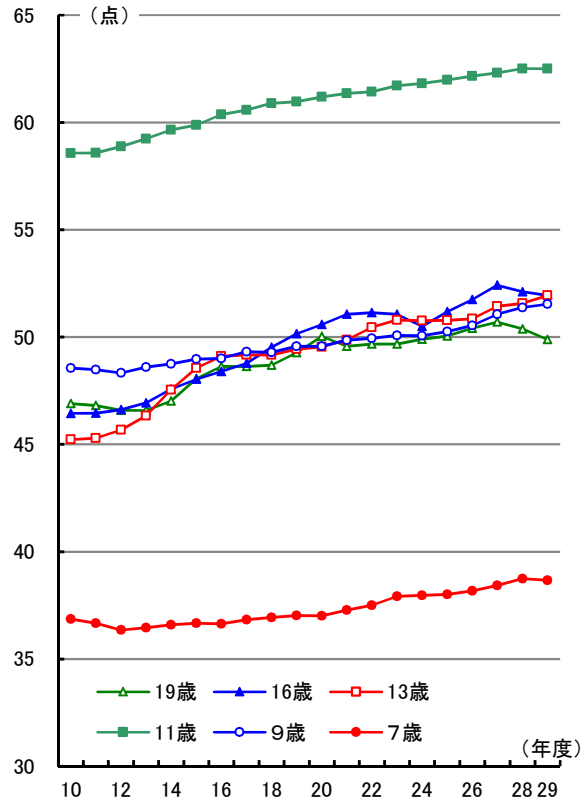


図2-20 新体カテストの合計点の年次推移(女子)

(注)図2-19の(注)に同じ。